

野菜の収穫運搬 省力化にA I活用 鹿追で実証実験 立命館大や農研	71
スマート農業でつかく発信 J Aおとふけ	72
原木シイタケ再興へ 独自ブランド「サホロ椎茸」立ち上げ 新得・元協力隊員の正脇さん「本当のおいしさを」	73
牛のデータ共有 電子カルテ 開発進む 音更のベンチャー「ベッテル」	73
十勝の農機メーカー脚光 技術相次ぎ全道表彰 芽室フクザワ・オーダー農機 足寄キュウホー	74
は場図、生産履歴 いつでも閲覧可能に 農協連情報サービス	74
A I、5 Gで乳用牛管理 5機関が実証実験 土谷製作所・帯畜大など 2022年秋の商用化目指す	75
災害時に酪農家情報共有 頭数や発電機有無 幕別圏4 J A 設備の貸与支援にも	76
てん蔵に「雪踏み」機能も 作業予定立てやすく ネットの営農支援システム 「野良イモ」対策に活用を	76
搾乳ロボ 道内5年で倍増 3割は十勝、99戸 規模拡大で進展	77
②畑 作	
香港にイモ 試験輸出 豊作時の在庫消化へ	78
「とかち太郎」栽培開始 川西長いも発展担う 新品種	78
道産小豆 15年ぶり高値 60キロ当たり4万2000円	80
小麦新品種「勝系158号」収穫	80
J A十勝清水町で栽培10年 ニンニク着実に拡大 産地化 来月「宣言」	81
出来秋 収穫最盛期 ビート順調、小豆平年並み期待	81
新品種ナガイモ「とかち太郎」手応え 収量1割増 J Aかわにし	82
ビート糖度16%後半か 気温影響17%届かず 今年産見通し	82
十勝産小麦 20万トン回復 品質ほぼ1等級 ホクレン扱い	83
十勝ビート全道1位 19年生産量、3年連続で 寒暖差少なく糖度は16.7%	84
小豆作付け 15%上積み 20年産指標面積	84
③酪農・畜産	
酪農家「自家発電機を」 道が危機管理マニュアル	85
生乳生産1000トン突破 戸数減も規模拡大進む	85
乳牛飼育 最多23万頭超 18年度十勝畜産統計	86
健康志向 あか牛注目	87
1頭1日当たり乳量 過去最高 十勝33.4キロ 全道は31.7キロ	88
最新搾乳ロボ紹介 大手2社、十勝で発表会	88
4 Kカメラ 牛を管理 上士幌で5 G試験 総務省事業	89
雪印 大樹工場に自家発電設置 来年度10月以降の完了を目指す	90
南十勝酪農女子 交流に花 苦労や感動共有	90
最高位に大樹のエンブレム-K 十勝勢が上位席卷 道畜産共進会の乳用牛部門	91
道内生乳 4年連続増産か 3.3%増、423万1000トン	
需要も堅調 Jミルク20年度需給見通し 都府県へ移出量拡大	91
④災害・復旧・新型コロナウイルスほか	
少雪でナガイモ凍害	92
畑カラカラ雨不足 風害、生育鈍り不安	92
豪雨災害3年「やるしかない」 畑の表土流失 続く土づくり	93
胆振東部地震・ブラックアウトから1年 非常電源 配備進む 風化…防災意識どうつなぐ	94
作業事故死 十勝は2人 負傷者は38人減の481人 18年度	95
道開発予算にかんがいが排水事業 更別、鹿追で調査着手 水害対策、早期着工に期待	96
小麦やナガイモ 凍害不安 畑に「布団」なく 雪不足憂う農家	97
昨年の農業労災30件 機械関連7割、外国人の安全周知も課題 過去5年で最多 速報値	97
新型肺炎 農業実習生入国難しく 中国から 営農影響も	98
⑤農業団体	
粗生産 史上2番目134億円 生乳は過去最高額 J A中札内村	99
粗生産額 1割減58億円 天候不順など影響 J A十勝池田町	99
販売額6%減の84億円 多雨低温で畑作苦戦 J Aあしよろ	99
農畜産販売29億円に 平年並み維持 J A十勝高島	100
総生産高 最高の78億円 8年連続の更新 J Aひろお	100
販売高 過去最高191億円 ビート、ソバが高収量 J A新得町	100
取扱高が連続60億円超 畑作苦戦も生乳伸び J A忠類	101
取扱高150億円超 野菜高値で過去2番目 J A帯広大正	101
18年度販売高132億円に 史上2位 J Aさらべつ	101
販売高8年連続100億 畑作部門は9%減 J A豊頃町	102
取扱高2.3%減152億円 野菜高値、畜産は最高 J A幕別町	102
販売高2.6%減39億円 最高の17年度に迫る J Aさつない	102
販売209億円、過去2番目 乳量は11万トン突破 J A鹿追町	103
販売額 初の60億円超 肉牛高値や生乳生産堅調 J A陸別町	103